



MESSAGE NOTES

互いに愛し合うということ

ヨハネの手紙 第一 4:7-8

ロイド フラハティ

1. 神を知っている人の特徴

ヨハネの手紙 第一 4章 7～8 節

7 愛する者たち。私たちは互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのです。愛がある者はみな神から生まれ、神を知っています。8 愛のない者は神を知りません。神は愛だからです。

私たちが愛情の無い行動を取ってしまう時、私たちは天の父の子供であることを忘れててしまっているのでしょうか。

私たちは「削除する文化（キャンセルカルチャー）」の時代に暮らしています。人はいとも簡単に人間関係を切り捨てます。自分の人生から人を削除する代わりに、その人たちに哀れみを示したらどうなると思いますか？次にそんな機会が訪れたら、言い返さずに耳を傾けてみませんか。神様が私たちにくださっている平安を受け取って落ち着きましょう。

2. 心と思いを守る

ピリピ人への手紙 4章 7 節

そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

ひどい仕打ちを受けても祝福を返し、敵を愛することができるよう、落ち着く時間をもち、心の準備をしておきましょう。神様の平安で覆い尽くされ、知恵を持って、恨みを抱かないようにしましょう。

3. あなたの全てを尽くして神様を愛する

マルコの福音書 12章 30～31 節

30 あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』31 第二の戒めはこれです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。』これらよりも重要な命令は、ほかにありません。』

まとめ

私たちの内にある神の愛は、私たちを傷つける人を愛する力を与えてくれるでしょう。あなたを傷つけたその人は、もしかしたら自分自身が傷ついているのかも知れません。彼らは自分を愛すことができずにいて、あなたを傷つけるような言動を取っている可能性もあるのです。